

令和3年12月議会臨時会

## 東総地区広域市町村圏事務組合議会会議録

令和3年12月21日 開会

令和3年12月21日 閉会

東総地区広域市町村圏事務組合議会

令和3年12月東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会議事日程

令和3年12月21日（火）午後2時開会

日程第 1 開 会

日程第 2 会期の決定

日程第 3 会議録署名議員の指名

日程第 4 延会を求める動議

日程第 5 延 会

---

出席議員（9名）

1番	地 下 誠 幸 君	2番	石 上 允 康 君
3番	岩 井 文 男 君	4番	木 内 欽 市 君
5番	佐 久 間 茂 樹 君	6番	島 田 和 雄 君
7番	石 田 勝 一 君	8番	苅 谷 進 一 君
9番	浅 野 勝 義 君		

---

欠席議員

な し

---

説明のため出席した者

管 理 者	米 本 弥 一 郎 君
副 管 理 者	太 田 安 規 君
副 管 理 者	越 川 信 一 君
事 務 局 長	石 毛 俊 光 君
環 境 施 設 課 長	宮 内 雄 治 君
環 境 施 設 課 主 査	西 ノ 宮 正 人 君

---

事務局出席者

書 記	江ヶ寄 基道
書 記	越 川 操

---

### 日程第1 開会 (午後2時00分)

○議長(地下誠幸君) ただいまから、令和3年12月東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会を開会いたします。ただいまの出席議員数は9名でございます。よって、定足数に達しておりますので会議は成立いたしました。

なお、議案説明のため、管理者、副管理者、事務局長ほか説明員の出席を求めました。

---

### 日程第2 会期の決定

○議長(地下誠幸君) 日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りいたします。本臨時会の会期は本日限りにしたいと思いますが、これにご意義ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(地下誠幸君) ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日限りと決しました。

---

### 日程第3 会議録署名議員の指名

○議長(地下誠幸君) 日程第3、会議録署名議員の指名を行います。匝瑳市議会会議規則第88条の規定を準用し、議長において、3番、岩井文男議員、4番、木内欽市議員の両名を指名いたします。よろしくお願いたします。

---

○8番(苅谷進一君) 議長。動議。

○議長(地下誠幸君) はい。苅谷議員。

○8番(苅谷進一君) 私が動議をする理由を申し上げます。昨日、匝瑳市議会、最終日において、東総広域市町村圏事務組合施設整備に関することに関する決議をいたしました。その決議を提出するとともに今回の議会のですね、提出された報告内容に実際と違っている内容があるので、今回の議会は流してですね、次回あらためて、議案とし

て提出することを願うことを決議させていただきたいと思います。以上です。

○議長（地下誠幸君） この際、暫時休憩いたします。

午後2時03分 休 憩

---

午後3時02分 再 開

○議長（地下誠幸君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。いろいろお話ができました。各市またいろいろですね、話があると思いますので、3時半まで休憩したいと思います。よろしく願いいたします。

午後3時02分 休 憩

---

午後3時32分 再 開

○議長（地下誠幸君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。ただいま荻谷進一君から動議が提出されました。賛成の方、いらっしゃいますか。

（発言する者あり）

○議長（地下誠幸君） この動議は所定の賛成者がいますので、成立いたしました。

---

#### 日程の追加

お諮りいたします。本動議を日程に追加し、ただちに議題とすることに賛成の諸君の起立を求めます。

○議長（地下誠幸君） 起立、多数であります。よって本動議を日程に追加し、ただちに議題とすることに決しました。

(発言する者あり)

○議長(地下誠幸君) 起立、多数であります。よって本動議を日程に追加し、ただちに議題とすることに決しました。

○議長(地下誠幸君) 暫時休憩いたします。

午後3時33分 休憩

---

午後3時34分 再開

○議長(地下誠幸君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

---

#### 日程第4 延会を求める動議

動議を議題といたします。提出者からの説明を求めます。

苅谷進一議員。

○8番(苅谷進一君) 本動議の提出はですね、昨日、匝瑳市議会で全会一致で。

(発言する者あり)

○8番(苅谷進一君) 提出されました。決議文の内容については皆様お読みになっていることかと思えます。まず第一にですね、先般提出されました議運の内容と、別紙カラー刷りの一部の提出内容、提出しました内容の数字の差異があること。これが事前に分かっていたら、議運でもちゃんと諮れたものですが、そういうことがなかったことが1点。2点目としては、事業内容がまだ不明確であると、この12億8千にがしの数字、それから日産コンサルが出た資料であります、詳細が細かく出てないような内容も含めてですね、積算根拠と設計内容がぜんぜん分かっていない。まして私ども、匝瑳市に関しては、今般850万弱の予算をもって、まだコンサルで設計を組んでいるところであると、そういうことも提案理由であります。また、それから中

継処理施設についても、今までは広域事業でやるということで説明を受けていたわけですが、今般、副管理者であります当市の太田市長より説明を受けましたところによりますと、一市二町環境衛生組合の当市に関わる処理場については、旧構成組での負担をしてもらえないんじゃないかということが、事務局から説明があったこと。また、そういう内容に加味してですね、我々に説明もなく、そういうのが首長会議でいきなり説明が出ているという点もあります。ですから今回、私としましては、今回の報告内容を正規の議会の手順にのっとり、広域議会で承認された後に、銚子市議会で提案、それから採決、で、おそらく銚子市議会では、今般、議案として出されて決議される内容だと思います。ところが、同様の広域議会においては報告で終わりという内容は、匝瑳市議会の内容にのっとりやっておりません。ですから、数字の問題点等と含めまして、今回の報告に対する議会の内容を一時停止していただきまして、あらためて議会をやっていただくと、それで議案として出していただくと。で、議案の内容に関しては、さきほど休憩中にも議長をはじめ、銚子市議会の議員さんにも説明しましたけども、議案の補助金を使うことに対しては、反対するものではございません。ただ、手順と内容を明確にしていきたいというのが提案理由であります。お取り計らいいただきまして、ご賛同いただきますよう、よろしく申し上げます。以上です。

○議長（地下誠幸君） これより、質疑に入ります。質疑を許します。

質疑はありませんか。

島田和雄議員。

○6番（島田和雄君） 今、荻谷議員さんの方から説明がありましたけども、この、今、銚子市がですね、議案として出されている内容につきまして、今議会中に可決されない場合に補助金が順調に、順調といいますか、間に合うのかどうか。そのへん分かればお伺いします。

○議長（地下誠幸君） 荻谷進一議員。

○8番（荻谷進一君） お答えさせていただきます。私が聞くところによる、執行部の

一部から聞きましたところによりますと、3月31日までに着工のかたちができるば、補助金は使えるという確認はとってございます。よろしく申し上げます。

○議長（地下誠幸君） 島田和雄議員。

○6番（島田和雄君） 間違いないでしょうか。大丈夫ですか。まあ、事業については、問題ないということで。

○議長（地下誠幸君） 越川副管理者。

○副管理者（越川信一君） この12月議会がもう、ぎりぎりのタイミングで出しておりますので、これが遅れるということになれば、もう年度内着工は難しいという情勢になります。

○議長（地下誠幸君） 島田和雄議員。

○6番（島田和雄君） お二人の意見が相違しているということであれば、実質はどうか、真相はどうか。そのへん、はっきりしない中では、いろいろ今後の、もしできないということになった場合には、東広といえますか、最終的には三市の負担がだいぶ増えるといったようなかたちが考えられます。そういうことがないようにですね、この事業を進めていかなければならないと思います。そのへん、はっきりさせていただきたいと思います。

○議長（地下誠幸君） 苅谷進一議員。

○8番（苅谷進一君） 今、越川副管理者さんが、おっしゃいましたけども、それは議会を、臨時議会を開けば十分対応できるものであります。ただ、今、現時点において、議会の日程のない中では、越川市長さんが言っているようなことになりますが、現執行中のものを臨時議会を開けば、銚子市さんだって同様の扱いがありますので、何ら問題ないはずで。総務課長の方でその点、お答えいただければと思います。

○議長（地下誠幸君） 副管理者。

○副管理者（越川信一君） 銚子市が事業主体として、実施主体として今、計画、スケジュールを立てている中で、入札が本当に1回でスムーズにいった、ぎりぎりのタイミングであります。これは執行権者として申し上げることでもありますので、少しでも

遅れば、この交付金自体をあきらめざるを得ないというふうに、私自身は考えております。

(発言する者あり)

○議長（地下誠幸君） 苅谷進一議員。

○8番（苅谷進一君） 今、越川市長さんが言ったように、一般的な問題にすることはありますけども、私ども議会とかの経験の中で、ちゃんと臨時議会を開けば、間に合わないことはないと思います。そのへん、事務局としてはいかがですか。

○議長（地下誠幸君） 総務課長。

○総務課長（江ヶ寄基道君） 苅谷議員がおっしゃいましたように、もし議員の皆様方や関係者において、臨時議会の開催に向けての準備などをご協力していただくということであれば、間に合うと考えております。以上でございます。

(発言する者あり)

○総務課長（江ヶ寄基道君） 銚子の市議会の臨時議会の開催ということであれば、訂正いたします。銚子の市議会ということでよろしいですか。

(発言する者あり)

○議長（地下誠幸君） 苅谷進一議員。

○8番（苅谷進一君） 私は、銚子の市議会も臨時議会を開けばいいことですし、東総広域議会も臨時議会を開けば、できなくはないです。そういう解釈です。越川市長さん、だいぶ焦っているようですがでもぜんぜん皆さんで協力し合っていけば対応できます。私は補助金を使うことは一切反対していませんので、ご理解いただきたい。

○議長（地下誠幸君） 副管理者。

○副管理者（越川信一君） 銚子市としては、もう実施主体が銚子市に移っているわけですので、明日の採決は粛々に行わせていただくと。これはもう議会に上程してありますので、それを取り下げるといふことはあり得ないということでございます。

○議長（地下誠幸君） 苅谷進一議員。

○8番（荻谷進一君） 実施主体が銚子市に決定はしておりません。広域議会で諮ったうえでの実施主体が、銚子市が主体でございます。お間違えのないよう、お願いします。

○議長（地下誠幸君） ほかに質疑はありませんか。

石上允康議員。

○2番（石上允康君） 今回のですね、この動議の決議文の第一番なんですが、令和3年12月臨時会に提出される報告案件、まあ今日のことでしょうけど、この部分についてはね、さきほども申し上げましたように、議運で今まで決定されてですね、今回も米本管理者の、その一つの提案として出ているわけなんです。この部分を聞かないという状況の中でですね、今日いろいろなデータ出されてますが、その部分については、ちょっと私ども、分かりかねているところがあります。それとですね、議案として銚子議会に提案していることは、信義違反であるというのはですね、これは、はなはだ私たちも遺憾と思っておりますが、これは管理者で過日にそういった方向が決定されたというようなことで理解しているわけで、それを前提としてですね、今日のこの進め方というのがあったんじゃないかと思うんですよね。ですから、そのへんと。もう一つですね、これはお願いの部分にはなりますけど、銚子の議会そのものが、もう明日最終日というような中でね、そして今回のですね、その重大な、というようなことで動議の者、からありますがそういったものが今後修正されるような要素は十分あるのではないかと思いますので、私としてはですね、まずこの内容を聞いてですね、というようなことをですね、ぜひお願いして、動議で決定されれば、これはですね、今回のこの報告案件そのものがなくなってしまうというようなことなんで。そのへんについてお願いします。

○議長（地下誠幸君） 荻谷進一議員。

○8番（荻谷進一君） 一点目の、さきほど説明しましたけども、実態と違うものが介在しているという自体、やっぱり信義に反することだと思います。それが、ちゃんと我々が、議運の段階で出ていれば問題なかったと思いますので、その点はさきほどさ

んざん説明しましたけども、ご理解いただきたいと思います。で、お願いの点でありますけども、さきほどらい、越川市長さんともお話しているとおりでありますので、われわれは協力しますし、われわれ、私、提案者等、匝瑳市議会の人間は銚子市さんの補助金使うことには、一切反対しませんから。それは断言して、ちゃんと議事録残しますから。それは結構ですので、そこは分かってのうえでの、私は紳士的なお話をしているわけです。ご理解いただきたい。

○議長（地下誠幸君） 石上允康議員。

○2番（石上允康君） それとですね、今回のこの、いわゆる撤回してですね、再度、臨時議会を開いて、両スケジュールを新年に向けてやらなければならない。それはもし間に合わなかったらどうするのかな。これは三市にとっての重大な損害になりますよね。ですから、そういったことと合わせてね、今回のこの部分は、本当にそういうような部分の、なんて言いますか。本当に欠陥なのかというような部分と、あるいは、できれば修正できるというものであればですね、報告をしていただいて、その今までの方向は、私はこの三市の広域の自治体にとってたいへん有意義だと、有利なことだと思いますので、そのへんについては、よろしくお願ひしたいと思いますが、どうでしょうか。

○議長（地下誠幸君） 荻谷進一議員。

○8番（荻谷進一君） おっしゃる意味はね、石上議員、さきほど岩井議員とも地下議長とも話したとおりで、私はちゃんとやるべきだと思うんですよ。だから、われわれは最大限、時間に関しては協力しますし、なんら惜しむことじゃないです。はっきり言ってるじゃないですか、ずっと。ただ、きちっと手順を踏んでもらって、毎回毎回、時間がないから、もうこれでやってくれ、毎回、これでやってくれって、結局は当初の事業のですね、工期が終わらなきゃ補助金がもらえないって言っても、結局、工期を延長しても補助金をもらえているわけじゃないですか。だって、さきほど言ったように、議長さんのお話ですと、林幹雄さんが持ってきたような、そこまで地下さんおっしゃってましたけど。そこまで皆さん、広域体制でやってるんであれば、そのもの

は不可能でないと思いますし、補助金は、それは使うことは、われわれ、本来であれば私たちにもチャンスはあったわけですけど、銚子市さんが先行して、その補助金を使うということであって、それを了解したうえで、明確でやりましょうって言うだけですから。なんら信義に違反してないです。協力はしますから。最大限。よろしく申し上げます。以上です。

○議長（地下誠幸君） 石上允康議員。

○2番（石上允康君） 逆にですね、今後のスケジュール、あるいは万が一、そういった部分のリスクを考えた場合ですね、ぜひ、こういった方向で進めさせていただければと思います。そして、この部分についてはですね、管理者が、われわれに対して、議員に対して報告案件ということで、議運まで含めてやった。今日、提出されているわけなんで、これについてはですね、もう管理者の皆さんはそれぞれ、こういった方向であろうということで、今日の議会があると思っていますので、そのへんですね、再度ですね、よろしく申し上げます。それと、万が一ですね、そういった部分がミスになって、執行されれば年度末でも、年度過ぎて決定されても補助金はあるのかどうか分からないんですけど、これはまあ、ひとつ、この年度での実行というのは、これはやらなければならないということなんで、そういったリスクを考えればですね、なんで今日ですね、その重大な案件なのかというようなもの、これに今、進める方向でですね、非常に疑問を持つわけなんです。それでもし、それができなかつたら、どういうふうに言われる、議員はさ、責任を持ったらいいのかというような部分を含めて、よろしく申し上げます。

○議長（地下誠幸君） 荻谷進一議員。

○8番（荻谷進一君） 協力して物事は進めると言っております。で、さきほど石上議員がおっしゃった、管理者が納得したと。管理者に聞きますところ、この資料なんかは、管理者は見てないそうです。見てて、そういう話が出てて、銚子市さんが13日に上程しているのを知ってなければ、管理者だって納得してないはずですよ。以上でございます。

○議長（地下誠幸君） ほかにございますか。

佐久間茂樹議員。

○5番（佐久間茂樹君） ご苦労様です。確認なんですけどね、まず、間違いじゃないと思うんですけど、今日、荻谷議員の方から出されましたこの資料ですね、これがまず本物かどうか、まずね。それで、本物であれば令和3年11月30日となっているわけです。今日は、12月21日で、今日の議案の中でですね、出てるわけですけども、まずこれが本物かどうか、間違いはないかどうかと、これを確認していただいて、それで今日の議案書に出ている、この中でですね、12億8,144万っていうのがあります。11月30日の時点で。今日の時点で出されたのは、11億1,465万と。これ、どっちが合ってるのか、そのへんをね、確認したいんですね。これ、まさか偽物とは思いませんけど、一応確認して、それで今日時点の11億1,465万というのは、なぜ11月30日で12億8,144万になっているのか、そのへんを銚子市さんの方で説明していただければと思いますけど、確認のためです。

○議長（地下誠幸君） 越川副管理者。

○副管理者（越川信一君） 銚子市議会に提案している数字というのが、12億5,999万5千円ということで、両方の数字とも異なる数字という。

（発言する者あり）

○副管理者（越川信一君） これは、私の方は初めて見た資料でございます。三市の課長会議で、事務協議の中で提出された資料ということで、私の方には上がってきておりません。

（発言する者あり）

○副管理者（越川信一君） 銚子市企画財政課っていうふうに書いてありますので、それから三市の課長会議の中で、銚子市から提出されたということを聞きましたので、間違いないだろうというふうには思っておりますが、私自身がこれを見たのは今日が初めてということになりますし、数字自体も12億5,999万5千円というのが議会への上程の数字ですので、この数字ともまた違う数字になっております。

(発言する者あり)

○議長(地下誠幸君) 宮内課長。

○環境施設課長(宮内雄治君) 11億の数字は、これまで組合の方で、以前にやりました基本設計業務というもので概算額を出していただいた数字が11億の数字です。で、このカラーの資料なんですけど、こちらはうちの組合、うちの課の方から旭市と匝瑳市の財政担当課長さんの方にお渡しした資料です。この資料を渡した理由は、銚子市さんの。

(発言する者あり)

○環境施設課長(宮内雄治君) 銚子市さんから預かって、旭と匝瑳の財政担当課長さんに渡したのは、うちの課の方で渡させてもらってます。以上です。

○議長(地下誠幸君) 佐久間茂樹議員。

○5番(佐久間茂樹君) あのね、1か月前にこういう数字があって、今日の議会の報告で11億っていうのは、やっぱりこれね、解せないというか、納得できないところがあるけどね。確かにいい財源でね、やりたいのはみんな一緒だと思う。やっぱり手順がね、1か月、逆だよ。こっちが11月ならいいけど、反対だから。そうするとね、確かにね、真意っていうかね、俺たち議員は、なにやっているのかなと思うよね。しかも令和3年度でやるわけですから、この後、補正があるわけですよ、東広の議会。これも円満に通さなきゃいけないわけですよ。やっぱり、そういった意味ではね、もうちょっと事前の説明とかね、納得のいくような説明が欲しかったような気がします。まず、間違いないということですよ。

○議長(地下誠幸君) 荻谷議員。

○8番(荻谷進一君) 今、越川市長さんから話が出ましたけど、岩井前議長と石上さんと地下さん、分かっていると思うんですけど、銚子市に出ている数字っていくらなんですか、それ。今、越川市長さんから出ましたけど、それがまた数字が違っているって、またおかしな話になっちゃうんですよ。その数字は地下議長、分かるでしょうから教えてもらっていいですか。

(発言する者あり)

○議長(地下誠幸君) ちょっと、すいません。手元に今、資料がなくて、これよりは金額が。

荻谷議員。

○8番(荻谷進一君) おそらく、越川市長さんが持っていて、さきほど読み上げていたようですが、もし市長さん、よろしかったら数字だけでも教えてもらって、いいですか。

○副管理者(越川信一君) 12月議会への予算案の上程数字ですけれども、12億5,999万5千円。繰り返します、12億5,999万5千円というのが今議会への上程してある予算額というふうになります。

○議長(地下誠幸君) 荻谷進一議員。

○8番(荻谷進一君) そうしますと、上程してある内容と全体が一致していないとまずいと思うんですよ。だから、数字をきちっと変えていただいでですね、佐久間議員のおっしゃるとおり、手順を踏んできちっとやっていきましょうよ。その方がベストですよ。よろしくお願いします。

○議長(地下誠幸君) 岩井文男議員。

○3番(岩井文男君) 今日は動議出されて、動議が叶ったということになっちゃったわけですが、非常に私は残念に思っています。今、いろいろ同僚議員の石上さん、あるいはほかの議員さんから出ましたけども補助金を使う、補助金があるっていうのは、これはわれわれ議員としては、地域の住民に行政サービスをするということであれば、これは当たり前であって、議員各位がそれぞれ努力するっていうのは、あるいは首長さん含めて努力するっていうのは、これは当たり前の話です。これに反対する人は誰もいないというふうに思います。しかしながら、どうやってこれを間に合わせるようにやるんだということになれば、今、銚子の市長が答えたように、粛々と議会の中で予算化し、そして来年の4月には実行できるようにと、そういう段取りを今、議会としては提案されているという内容でございます。そして、やはりこれは補助金

を使って施設を壊していく、これは銚子市だけじゃなくて旭も、あるいは八日市場も全部求められるってことであって、それに反対、異論を唱える人は誰もいないと思うんです。いかに安くやるか、いかに安全に物事を行うかというのが、われわれに課せられた使命であります。再度聞きますけども、4月まで間に合う、あるいは臨時議会をやってということをございますけども、特にこの2項目に書いてある積算根拠、設計内容を速やかに提示する、そして速やかに提示した中身の中で東広圏の事務組合は、どれだけスピーディーにこの話を処理できるのかということにも非常に疑問を感じるわけですけど、この点はどうですか。2点お伺いします。銚子の市長さんとこの広域市町村圏事務組合の管理者にお伺いしたいと思います。

○議長（地下誠幸君） 越川副管理者。

○副管理者（越川信一君） まず、銚子市議会の手続きについては、さきほど申しましたように、もう明日がタイムリミットだということで今回、上程しております。これを一日でも遅らせれば、この事業ができない。補助金をもらえない可能性がありますので、そういった段取りの中で、明日の採決は粛々と行わせていただく。これは、あくまで銚子市議会の話になるというふうに思いますので、銚子市議会並びに銚子市としては、明日の議決は粛々と行うという方針にまったく変わりはありません。

（発言する者あり）

○議長（地下誠幸君） 米本管理者。

○管理者（米本弥一郎君） はい。たいへん活発なご議論いただきまして、ありがとうございます。議会の手続きが間に合うかどうかというご質問でございますが、この後、旭市の組合議員が1月20日まで、来年になってしまいますと、不在になってしまいますので開催できません。ですので3月の定例会、2月に実質的には行われますが、そのときに合わせて、きちんと説明をさせていただきたいと思っております。よろしくをお願いします。

○議長（地下誠幸君） 岩井文男議員。

○3番（岩井文男君） 今、管理者から話がありましたとおり、一昨日、旭の市議会議

員の投開票行われまして、新たな議員のメンバーが決まったと、しかしながら1月、年明けだと思えますけども、さまざまな役職を議会の中で決めていくということになれば、今、管理者が言われたように、旭の広域市町村圏事務組合の議員になる人は、この2月議会になるかと思えますけども、そこまで議会が開催できないということになった場合に、非常にタイムリミットとしては狭くなるというふうに危惧しなければならないわけであります。補助金を使うということは誰も異論ないと言いましたけども、やはりそれをちゃんと現実的に、ちゃんと住民に示していくというのが、われわれ広域市町村圏事務組合で選出された議員の役割だと、私は認識してます。また、銚子の市長は今、言われたとおり、粛々とやらないと間に合わない。そして今、管理者からの話を聞きますと、旭の市の方から選出される議員数が、時間的に非常に制約があると、そんな中で速やか、スピーディーに議会が開催できるのかということになると、たいへん危惧するものだったですけども、この点、事務局としてどんな対応をしていくのか、この点もちょっと伺いたいと思います。それと、この今日の内容の3番目には、匝瑳市及び旭市の既存ごみ処理施設の解体撤去工事事業及び中間施設整備事業等について、これまでどおりの計画どおりに組合で行うことと、しかしながら銚子のことは何も書いてないわけです。銚子のこと、本当に協力、三市でやっていこうやと、銚子だけじゃなくて旭もそう、八日市場もみんな、いいようにやっていこうやというものの内容には、ちょっとほど遠いような、私、個人的な、悲観的な見方をしてしまうんですけども。この点は、提案者にちょっと、お言葉を願いたいと思います。事務方と提案者の方に、それぞれ答弁をお願いします。

○議長（地下誠幸君） 苅谷進一議員。

○8番（苅谷進一君） さきほど休憩中に申し上げたように、銚子市さんの中継処理施設はやることは決まってるわけです。それは、われわれとしては、もう了解している。ただ事業予算に関しての今回の会議の提案ということになっていきますので、そこは銚子市さんのことは、やるというような、間違いはないということは、われわれ議会は理解しています。なんでそれを書いたかということ、さきほど申し上げましたように一市

二町の環境衛生組合のごみ処理場の予算を、多古町と横芝光にも負担してくれという  
ようなことが首長会議で出たと、それ自体がおかしいから言っているわけでありませ  
う。それで、さきほど岩井さん、いいこと言いましたよ。われわれも市民に説明しな  
きゃならないということです。それが、説明できる資料がないんですよ。そこが困  
っているところ。われわれ、もう議会終わってますけど、昨日議会の中で、われわれ  
3人にも、一任していただけるような話になってますから、はっきり言って、今後  
の内容は。管理者もおっしゃるように、旭市議会さんは改選されたけども、そうい  
うことで選出願いただくのに時間がないということであれば、臨時議会を開けば、  
間に合わなくはないと思いますから、その点をご協力いただければと。以上です。

○議長（地下誠幸君） 事務局長。

○事務局長（石毛俊光君） ただいまの岩井議員からの質問について、お答えしたい  
と思います。さきほど管理者の方で説明させていただいたとおりですね、旭選出の議  
員さんが12月までで任期が終わってしまうということで、それであれば3月の定例会  
、2月に予定してます3月の定例会の方で、事業費につきましては、精査したものを  
提出というか、説明させてもらうような流れと考えております。以上でございます。

○議長（地下誠幸君） 荻谷進一議員。

○8番（荻谷進一君） 今、岩井さん、われわれ議会としては、しようとしてやっ  
ているわけですけど、議会を無視して銚子の市長は、もう粛々とやるって言っ  
てるんだから、それでいいんじゃないですか。

○議長（地下誠幸君） 岩井文男議員。

○3番（岩井文男君） 今、事務方の説明で、3月議会です、提案して、そして  
間に合うように。これ間に合うようにとは、大変な難作業だと思いますよ。間に  
合わなかったら、どう責任取っていくの。われわれ、さっき冒頭、私、申し上げた  
とおり、われわれの使命っていうのは、ごみ処理施設の負担金をいかに市民、一  
人一人、それぞれに安く提供できるか、その努力だと思うんです。その努力を怠  
って、やってたらやはり、皆さんからたいへん敬遠されますよ。せつかく国から  
の補助事業、そういう

ものをうまく活用していく。それには熟議の議論も必要だし、三つの市でやってるわけですから、三市の共同体の協力体制っていうのも、これは是が非でも必要です。特にさきほど私は冒頭、申し上げましたけど、正副管理者が意見が合わないっていうのは、やはりこれで提案していくこと自体が大きな欠陥だと思います。これは熟議の末ですね、やっぱり三市の管理者でちゃんと方向性を定めて、予算も何も全てやっていくという姿勢が執行部のあり方じゃないですか。そこに県から出向している人がいるわけですから、その方々と一緒になって、みんな旭市から、匝瑳市から、みんな代表選手で執行部として出てるわけでしょ。その方々が一緒になって骨を折って、われわれ議会の方に提案していくってことを怠ったら、やはりこれは混乱するばかりだと思います。これでひとつ管理者、よろしく、ひとつお願いをしたいと思います。それと、また間に合うようにですね、補助金が間に合うように、ひとつ十分な配慮をですね、やっていながら、管理者会議で協議をお願いしたいと思います。以上です。

○議長（地下誠幸君） 浅野議員。

○9番（浅野勝義君） 動議に対して賛成するものでございますが、さきほどから事業が間に合うとか、間に合わないとかって議論がされています。いつもそうなんですよ。この最初の建設当時からですね、建設費の割合をどうするかということで、平成26年度に私が提案しまして、それから直前までこれが決まんなかったんですよ。それで、もう時間的余裕がないから、銚子市さんの主張する2、4、4で何とかしてくれということで、われわれはやむを得ず、それに同意して協力してきました。今回もこの事業が間に合うとか間に合わないとかって議論が出てますけども、これは銚子市さんですね、当初の東広の規約と、銚子市さん独自で変えたんですよ。ですから、間に合うように準備するのは銚子市さんの役目であってですね、これはちょっと本末転倒だと思います。ですから、間に合わなかったら銚子市さんの責任です。ちょっと言葉は悪いですけども、銚子市さん、甘ったれすぎてんじゃないかと思います。私も東広は古いです。で、今までの流れが全部、銚子市さんの最後のわがままで成立してきたわけなんです。だから私は銚子市さんとか旭市さんとか匝瑳市がどうのこうのという

ことではありません。ただ今までの経緯はそのようなかたちでありました。ですから今回もですね、この報告に対して苅谷議員が動議を出しての流れなんですけども、ごみ処理解体撤去事業について、事業主とか内容等と、詳細が示されていないんですよ。まあ、特異な解体工事になろうかと思いますが、それは理解できます。しかしながら、つい最近、旭市さんが庁舎を解体したら、1億かかったとか、かからないとかそのへんの額なんですよね。新たに建てるものじゃなくて、壊すんですよ。建てるよりは壊す方が安いんですよ。それが事あるごとに、その額が上積みされている。これはもう不信感を持つのは当然でしょう。ですから銚子市さん独自のお考えで、さきほどから発言されてますけども、間に合うように努力されるのが銚子市さんの役目だと思います。これ、銚子市さん独自で、好きでやってるんですよ。言葉の使い方がちょっと、おかしいと思われるかもしれませんが、まず根本を考えてください。ですから組合議員が、各市が、すべてが納得するようなガラス張りのですね、内容で示してほしいんですよ。考えればいろいろありますよ。私も個人的に商売してます。例えが悪いと言われるかもしれませんが、例えば災害で家屋が壊れます、まず見積りやって保険金がおります。保険金を水増しして額が全部おりるって形態があるんですよ。そのぶんは会社で利益になるんですよ。往々にしてそのようなやり方もできなくはないということをおし上げたい。ですからすべてをガラス張りにしてですよ。その積算根拠も含めて、それでガラス張りにして、ここに提出して皆さんの賛同を得るのが当然でしょう。ですから今日は臨時議会というかたちで集まりましたわけなんですけども、本来ならこれはさ、全協でもむべき問題で、そこでもんで議会で方向付けをするというのが、これが流れだと思います。でありますからして、間に合う、間に合わない、これは銚子市さんの問題であって、銚子市さんの責任であります。ですから、このへんのところをね、それぞれ今までの経緯を、この中で長い議員さんも、岩井さんなんか長いかな。石上さんは長いんだ東広ね。今まですべてそうでしょう。銚子市さんが、これでは間に合わないから何とかしてくれということでもって。

(発言する者あり)

○9番（浅野勝義君） ですから補助金に対しては反対しないと言ってるでしょうよ。ですから、進め方がおかしいんですよ、あなた方。もっとね、元に帰って、誰も納得するかたちでもって、東広進めてくださいよ。すべてがいいようにね。すべて三市が。元々、その目的で始まったのがこの東広のごみ処理施設ですよ。今までよりも負担が少なくなるよということをやったんですよ、これね。ですから根本に帰ってください。間に合う、間に合わないは銚子市さんの責任であります。以上であります。

○議長（地下誠幸君） 荻谷進一議員。

○8番（荻谷進一君） 越川市長さんに確認をしたいんですけども、いいですか。あのね、今回、米本管理者、太田副管理者が知らないで、銚子市さんが議会に上程したものですよね。それは、お伝えしてないと思うんですよ。銚子市議会で、この数字が3つとも違うんですけども、それをなんで上程するって最初に副管理者である越川さんが、お二人にしなかったんですか。するべきじゃないですか。

○議長（地下誠幸君） 越川副管理者。

○副管理者（越川信一君） 動議に対する質疑ではないというふうには思いますけれども、米本管理者には上程前に言ってありますし、太田管理者にも事務作業は粛々と進めざるを得ないということは申し上げているところでございます。

（発言する者あり）

○副管理者（越川信一君） 事務作業はきちんと進めなければならないということは申し上げたつもりでございます。

○議長（地下誠幸君） 荻谷進一議員。

○8番（荻谷進一君） よく伝わってないですよ。やっぱりね、話すべきだと思います。失礼ですけど、太田さんがいろいろ大変なんで、全部を全部、把握するのは難しいところもあると思うから、そこはやっぱり裏方のスタッフがですね、きちっと分かるように説明しておかないとだめだと思います。よろしくお願いします。

（発言する者あり）

○議長（地下誠幸君） よろしいでしょうか。これをもって質疑を終結いたします。

これより採決に入ります。苅谷進一議員の動議について、本動議について賛成の諸君の起立を求めます。

起立多数であります。よって本動議は可決されました。ここでお諮りいたします。組合会議規則で準用する匝瑳市議会会議規則第24条第2項にもとづき、令和3年12月議会は延会したいと思いますがいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

---

## 日程第5 延 会

○議長（地下誠幸君） これにて、令和3年12月東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会を延会いたします。本日は、大変ご苦勞さまでした。

午後4時17分延会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

東総地区広域市町村圏事務組合議会 議 長 地 下 誠 幸

議 員 岩 井 文 男

議 員 木 内 欽 市

